

システム情報工学研究科特定課題研究報告書概要

|   |              |   |               |
|---|--------------|---|---------------|
| 年 度   | 平成 21 年度     | 学位名   | 修士(ビジネス )     |
| 専 攻   | 経営・政策科学      | 専攻  | 著者氏名<br>樋田 光生 |
| 指導教員氏名 松田紀之   |              |   |               |
| 報告書題目<br>食品スーパーにおける食の安全・安心の取り組みに関する提案<br>(リスクとコストの側面からの検討 -リスクコストの計測-)  |              |   |               |
| 報告書概要<br><p>食品スーパーの安全への施策にかかるコストとリスクの関係を検証した。今回は、食中毒を例に食品スーパーのリスクをリスクカーブ法により定量化し、ライフサイクルコスト評価式を用いて現状と改善案のリスクコストの差を検証した。</p> <p>現状のリスクカーブは、先行研究や過去の統計データを用いて 12 のシナリオを設定し、それを基に作成した。そこから、現状では年間期待損失額（1年当たりのリスク）は微々たる額だが1度事故を起こした場合その金額は大きくまた、企業規模に応じて損失額が飛躍的に大きく変動することがわかった。</p> <p>改善案では、食中毒菌検査、全商品トレーサビリティ、品質管理部門の設立、保険の加入といった4つを提案し、それぞれのライフサイクルコスト評価を出した。その結果、食中毒1つを例にした場合では、リスクの軽減はできてもコスト面で現状を上回ることはできないということがわかった。但し、食中毒以外のリスクやリスク対策による利益を想定した場合は、その限りではないと指摘し、特に品質管理部門の設立ではその可能性が高いと述べた。</p> |              |   |               |
| 審査日   | 平成 22年 3月 1日 |   |               |
| 審査員   | (大学名・職名)     | (学位)  | (氏名)          |
| 主査  | 筑波大学 准教授     | Master of Science in<br>Financial Economics | 高安 雄一         |
| 副査  | 筑波大学 教授      | Ph. D. in Sociology                         | 松田 紀之         |
| 副査  | 筑波大学 教授      | 理学博士  | 佐藤 亮          |